



SCARTSモールCでの展示の様子 以下「さっぽろウインターチェンジ2021」すべて、撮影：門間友侑



《雪堆積場タイムラプス》 雪堆積場での作業の様子を、一定間隔で撮影し、早回しで再生している

## さっぽろウインターチェンジ2021

# Sapporo Winter Change 2021

会期 2021年2月5日(金)～14日(日) 10:00～19:00  
 会場 SCARTSスタジオ、SCARTSモールC  
 入場料 無料  
 企画 SCARTS×SIAFラボ  
 主催 札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市  
 協力 札幌市雪対策室  
 助成 令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

札幌の冬を、普段と違う見方でクリエイティブに楽しむプログラム「さっぽろウインターチェンジ」。3回目となる今回は、SIAFラボとSCARTSによる新たな共同プロジェクトを紹介する展覧会を開催しました。

北国ならではの芸術の形を、冬のデータから考える



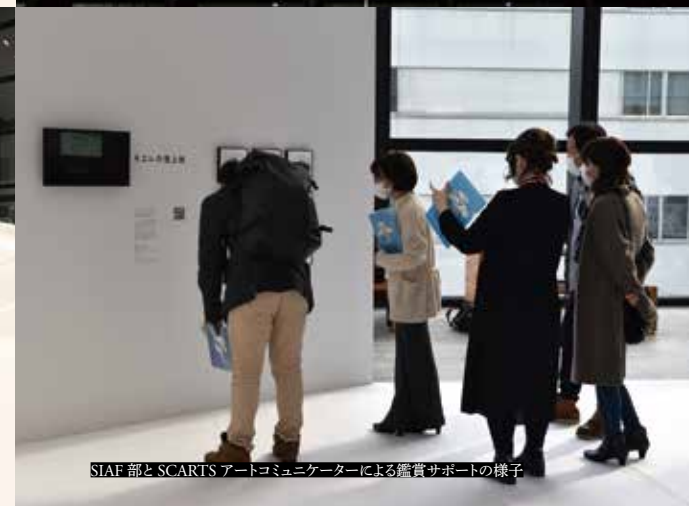
【モエレの雪上絵】 GPS ロガーを持ったワークショップ参加者が、スノーシューを履き雪上を歩いた位置情報によって描いた雪上絵



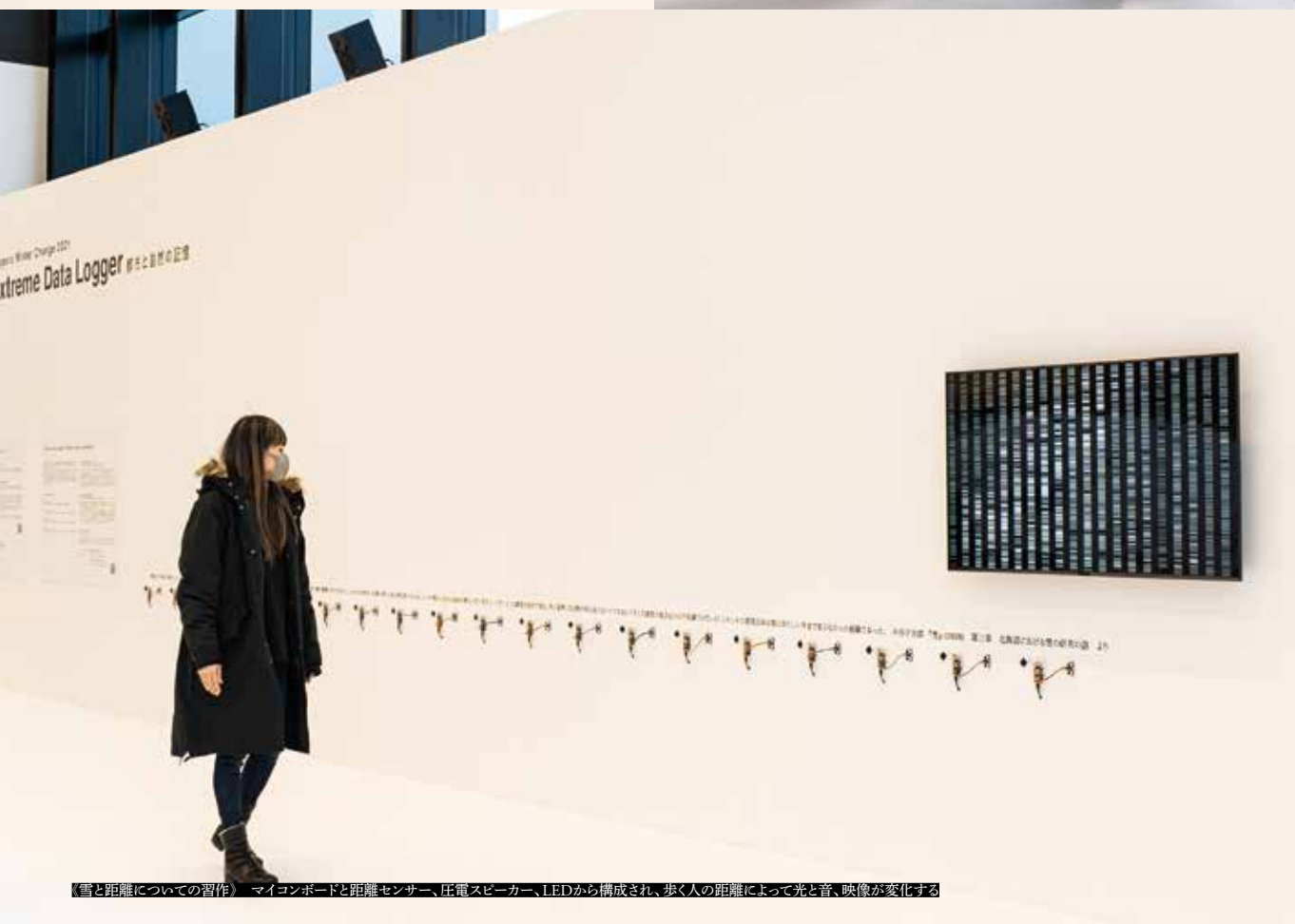
【成層圏気球】 成層圏に到達することのできる気球  
気球に搭載した 360 度カメラによる映像のストリーミング配信を行った



【除雪彫刻】 除雪車によって積み上げられた雪の塊を三次元計測によってデータ化し、発泡スチロールを削って再現することで、彫刻作品に見立てたもの



SIAF 部と SCARTS アートコミュニケーターによる鑑賞サポートの様子



【雪と距離についての習作】 マイコンボードと距離センサー、圧電スピーカー、LEDから構成され、歩く人の距離によって光と音、映像が変化する

【**展覧会**】

**Extreme Data Logger : 都市と自然の記憶**

2020年、各国で新型コロナウイルスが蔓延しました。世界中の多くの文化施設や催しが来場者に社会的距離を保つことを求め、オンラインに可能性を見出そうとする中、SIAFラボとSCARTSはまったく逆とも言えるアプローチから、新たなアートプロジェクトを立ち上げました。そのアプローチとは、屋内に留まるのではなく、積極的に野外へ出よう、それもネットにつながらないような過酷な環境へ出て、そこで芸術を考えてみよう、というものです。

この展覧会では、この新たなアートプロジェクトの基点となる「エクストリームデータロガー」という考え方を紹介すると共に、そこから生まれるであろう作品のアイデアや試作を、「彫刻」という芸術形態や、「ホワイトキューブ」と呼ばれる美術館の展示室などを引用し、展示しました。

【**関連イベント**】

**SIAF部 × アートコミュニケーターによる鑑賞サポート**

日時 2021年2月7日(日)、11日(木・祝)、13日(土)～14日(日) 14:00～17:00

会場 SCARTSコート、SCARTSモールA・B・C

「さっぽろウインターチェンジ2021」と、同時開催した「SIAF2020ドキュメント」の展示をより楽しんでもらうため、SIAF部\*とSCARTSアートコミュニケーターひらくのメンバーが協力し、来場者に展示物の見どころを伝える活動を行いました。

※SIAF部 SIAFをより深く知り、一緒に盛り上げていくための活動をしている市民メンバー

サイアフ  
**SIAFラボ**

札幌国際芸術祭(SIAF)のもとで、北国・札幌ならではのクリエイティビティを模索し、継続して活動続けるプロジェクトとして2015年に発足。研究開発、作品制作、人材発掘・育成を3つの柱として、トライ&エラーを繰り返しながら、ジャンルの垣根を超えた、オープンで実験的なプラットフォームとして活動を続けている。